

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和元年6月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善 すべき点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもの特性に応じた組み合わせを考え、時間差での支援や他の部屋の確保をしている
	②	職員の配置数は適切であるか		○		支援する人員は多く手厚いが、場所と人の動きをさらに工夫する必要がある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			出入り口の整備をしている トイレ・階段下などの整理整頓を常に意識している
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			一日の振り返りを毎日行い、職員が参画努力をしている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にご協力いただいたアンケート調査の結果（公開中）をもとに、今後の業務改善につなげていく
	⑥	この自己評価の結果を、会報やホームページ等で公開しているか	○			（公開中）
	⑦	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価を行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間計画をたてて外部研修に参加するほか、内部研修を組み立てて進めている
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントや保護者との面談を行って個別支援計画を作成し、保護者の同意を得て支援を行っている。よりきめ細やかな対応を心がける。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの発達を考慮した独自のアセスメントツールを作成して、使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日案、週案を作成して対応している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援計画に基づきプログラムを作成している。ケース会議等で見直しながら検討している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			夏休みなどの長期滞在時の活動は、担当者がプログラムを考え情報を共有して行っている

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動、小集団での活動のほか、併設する学童クラブとのインクルーシブな環境の下での交流活動も合わせた支援計画を作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の動き、活動内容、場所などを確認してから支援を行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを毎日行い、情報交換・共有を行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をとり、継続した支援につなげている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			ケース会議や面談等にて確認し、適宜見直しを行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			自立支援、学習支援、創作活動、体験活動など、子どもが楽しんで活動できるように様々な支援を行っている
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		相談支援事業所からの会議要請がない
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			行事・下校時刻などの必要な学校情報は保護者から提供してもらい、送迎時の申し送りやトラブル発生時には学校と情報共有を行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				(対象児不在)
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者を通して情報共有を行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				(対象児不在)

	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加している	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			併設の学童クラブと頻繁に交流の機会がある	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			事業所連絡会に参加している	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談以外に、担当者が送迎時などに保護者との情報共有に努めている	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者に寄り添いながら助言等を行い、信頼関係づくりに努めている	
	保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			重要事項説明書および支援計画書を作成し、これをもとに説明を行い確認している。質問等については、随時丁寧に対応していく。
		③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者に寄り添いながら助言等を行い、支援につなげている
		③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者交流会の開催を検討している。法人主催の行事等には参加を呼びかけ、交流の場として情報提供している。
		③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	苦情対応に関する掲示、第三者委員やご意見箱の設置など、苦情に対応する体制を整えている。重要事項説明書の中でも周知している。相談や申し入れに対しては誠実に対応していく。
③⑭		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			『デイだより』を定期発行し、情報発信に努めている	
③⑮		個人情報に十分注意しているか	○			外部への持ち出し禁止を徹底している	
③⑯		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時に担当者等が保護者への説明を行い、保護者の意見等の聞き取りも行っている。今後も丁寧な対応を心がける。	
③⑰		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			併設する保育室・学童クラブ合同のイベントを開催している	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルを一部修正して職員間で確認し、書面にて保護者に周知している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		児童デイ独自で、あるいは併設する保育室や学童クラブと合同で、毎月避難訓練を行っている。3施設全体の避難訓練も年2回開催している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		関連する資料の読み合わせを行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				(対象児不在)
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師の指示書を確認するなどし、必要があれば配慮している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		日々の振り返りで報告し合い、情報共有を行っている